



守口ロータリークラブ 週報 No. 24



職業奉仕月間

2015-16・RIテーマ

本日のピアノ演奏

1. 花は咲く 2. 赤いスイートピー 3. ビギン・ザ・ビギン

本日例会 2016年01月20日(水)
(第2656回)

「なぜ改革が必要なのか」
守口市副市長 泉谷 延 様
担当：記念基金管理委員会

次回例会 2016年01月27日(水)
(第2657回)

「新会員挨拶」
石津会員・竹嶋会員・平沼会員
担当：親睦活動委員会

出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
01月13日	24 (内免除者2名)	14	63.15%【会員40名】
12月19日	37 (内免除者3名)	メーカーアップ2名	(94.87%)

前回例会 (2655回) 1/13の主な内容

◎立野ガバナーより
石谷隆子会員へ、
米山奨学生選考委員の委嘱状



◎ゲストご紹介
本日の卓話講師
平井 治 様
(守口門真商工会議所 会頭)



ニコニコBOX S・A・A

石井 会員 守口・門真商工会議所会頭、
平井様の御来訪を歓迎して。
佐々岡会員 1/12より事務所を5Fロータリー
事務所のとなりに移転しまし
た。よろしくお願いします。

1/13 ニコニコBOX 613,000円



◎ 幹事報告 (他谷副幹事)

1. I.M第7組より公開シンポジウムの案内が届いています。
2. 佐治会員よりカレンダー頂いていますのでご入用の方はお持ち帰り下さい。

◆◆◆委員会報告◆◆◆

○職業奉仕委員会 (松尾委員長)
中島会員によりますお箒の出前授業のお知らせ

☆日程：2月4日(木) 13:25～

場所：守口市立南小学校

☆日程：2月5日(金) 13:35～

場所：守口市立八雲小学校

◆◆◆第7回理事会だより◆◆◆

日時：1月13日(水) 13:40～

場所：「事務局」出席：8名

- 議題：米山奨学生受入れの件
・会員増強委員長後任の件
・下期会費請求書の件



■ 会 長：川 村 弘 和
■ 幹 事：廣 瀬 彰 久
■ 広報雑誌・会報委員長：他 谷 勝
URL : <http://www.moriguchi-rc.jp/>

■ 例 会 場：ホテル・アゴーラ大阪守口 守口市河原町10-5
TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 事 務 所：守口市河原町10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口5F 〒570-0038
TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
■ 例 会 日：毎週水曜日 12時30分～13時30分

卓 話

「商工会議所の未来と現状」

◎会長の時間

守口門真商工会議所
会頭 平井 治 様

(会長 川村 弘和)



守口門真商工会議所

昭和45年(1970年)4月1日設立
守口商工会議所と門真商工会が合併して設立した異例なケース
現在会員数 2,832事業所、役員・常議員45名、議員80名
年間事業規模 2億8,700万円
職員数 23名、人件費 1億3,000万円、比率44.1%
経営指導員 17名 (日商簿記2級以上資格)

主な事業内容

- ・部会活動 (金属工業・一般工業・商業・サービス・建設業
・飲食環境衛生・諸業)
- ・ブロック活動 (6ブロック)
(ミニ会員大会として各ブロックで研修活動)
- ・委員会活動 会員交流(委)・商業振興(委)・工業振興(委)
共済運営(委)・事業検討(委)・財務(委)
会報発刊(委)・社会福祉関連(委)等

事業内容

- マルケイ融資 (中小零細企業対象の2,000万円迄の融資制度)
- 専門相談 (経理、法律、労務管理、環境)
- 保険共済 (会議所での自家共済事業は全国で数例)
- 創業支援
- 福利厚生事業 (会員大会・ビアパーティ・婚活等)
- 工業関係・ものづくり元気企業の認定を行い、その後、国の匠企業認定に掲げるその他勸業展、ビジネスチャンスフェアへの出展、守口・門真両市と連携して補助

商業関係

- 名店パスポートや大商業祭の開催
- 両市の有名ブランドを掘起すると共に、守口門真両市商業連盟の事業運営を全面支援している。

発足以来、会議所の収入は国、府からの人権費補助が1/3、会費収入が1/3、事業・斡旋・検定等が1/3で運営されていたが、ここ5~6年は人件費補助の色はなくなり、事業申請による予算要望をして、その費用対効果実績より助成金を受ける方式(大阪府方式は全国ではまだ珍しい)により、従来8,000万円近くあった助成金が現在5,000万円弱まで減額されている。その結果 会費収入のウエイトが大きくなり、会員獲得が重要課題となると同時に、職員のお役所感覚を払拭し、真に会員の事業活動に貢献する心構えを基本方針として運営している。

発足以来、両市の事業所は弱電城下町として、松下電器(現パナソニック)や三洋電機の下請企業が多く、会頭はじめ役員も大企業中企業の方々であったが、現在その色は大企業の経営方針の変遷と共に大きく変化した。

これからの会議運営は、中小零細企業が自分達の手で作上げる心構えが重要となって来た。その為の重要事項として、◎常に見える会頭はじめ役員、◎企業の大小ではなく意欲のある役員議員の結集と同時に事務局任せでない委員会活動、◎青年部、女性会の育成強化、◎情報の迅速化と徹底、◎職員全員の問題意識の共有とレベルアップ等、を重要課題として鋭意取り組んでいる現状であります。

前回の年初例会「新春邦楽演奏会」では、中島先生や桐弦社々中の皆様大変お世話になり感謝しております。お琴の演奏を聴かなければ守口RCは今年がはじまりません。中島先生には、何時までもお元気でいただきたいものです。

諸戸清六のおはなし

三重県桑名市に六華苑(国の名勝地に指定)とあります。5600坪の敷地に庭園洋館及び和館、他に6棟の離れ屋(いずれも重要文化財)からなります。ここは諸戸清六の私邸でありました。

私の関心は、森林王となった諸戸清六氏は、(1846~1906)が当時水事情の悪かった桑名に、私財を投じて東海地方で初の上水道を完成させ(明治37年:1904年)市民に開放したという偉業であります。当時は、水汲みと水回りの仕事はいつも女性でありました。水の仕事は一時も休めない、毎日こまめに水を汲む、食事は毎日作らねばならない。洗濯も毎日しなければならぬ、風呂好きな日本では、風呂に水を入れて焚くという仕事、女性は水回り以外にも掃除、縫い物、庭仕事、畑仕事と止めどない仕事の連続、子供が出来れば育児の世話、それは現在の日本人が想像できない程過酷なものでした。

東海で最初に女性の過酷な重労働から解放したのは、私財を投げうって水道事業を完成させた諸戸清六の偉業によるものでした。諸戸清六を決意させた理由は、毎日の過酷な仕事に疲れた母を想い、その重労働の元になっている水の給水を手がけたのだらうと思われまふ。一個人が女性を水汲みという過酷な重労働から解放し、女性の寿命を劇的に伸ばした桑名の諸戸清六氏。上水施設、市民への55ヶ所もの蛇口場を設け、無料で開放という偉業を成し遂げることになった背景に関心をもち、皆様にお話させていただきました。

今日の一句

今年の干支と掛けて自動車修理工場に無くてはならない道具と説く、その心は~
モンキー・・・レンチ